

ただいまと言いたい “ふるさと” 大田原によろこそ。

大田原市って、どんな所？

大田原市は栃木県の北東部に位置し、北部を那須塩原市、西部を矢板市、南部をさくら市、東部を茨城県と接しています。市の中央を鮎の漁獲量日本一の清流・那珂川が流れています。市の西側は那須野が原と呼ばれ、市の東側は八溝山系の山間部です。この山の雪解け水が豊かな水源となり、様々な自然の恵みを私たちに与えてくれています。



雲巖寺



写一まつり



ガゼン草(大田原市指定天然記念物)



ミヤコタナゴ(国指定天然記念物)



滝沢神社



美しい自然があって、豊かな恵みが生まれ、こころ優しい人々が暮らす、栃木県大田原市。私たちはここを、誰もが「ただいま」と言って帰っていける、心の“ふるさと”にしようと考えました。今、都市は人口が増え核家族化が進んでいます。一方で本来“いなか”と呼ばれる地域は過疎化や高齢化で、次第にその姿さえ消えかかっています。日本古来の伝統的な生活、産業、歴史、文化などの伝承が残る地域なのに、都会の子供たちはそれを知らぬままに“いなか”は失われていくのです。

子供たちだけでなく、明日を生きる私たちは皆、疲弊する毎日の生活の中で心に落ち着く場所が必要です。それが“ふるさと”の存在です。私たち「(株)大田原ツーリズム」は、いつでも戻れる“ぼしょ”を、居心地の良い家族となる“ひと”を、からだに優しい本来の“たべもの”を、提供していきたいと考えています。「生きる力」や「人間形成力」を育む“いなか”の、本物の生活を体験していただきたいと考えています。